

広報レポーターが気づいたまちの魅力

住みよさ
実感

旬の農産物を手頃な価格で ～無人直売所～



広報レポーター
山田 一夫 (木刈)

長引くコロナ禍で3密を避けた生活が続いています。けれど、生活必需品の購入は必須であり、食品、中でも野菜のない暮らしには、私の場合は耐えられません。

野菜が買える場所は、混み合うマーケット以外に、近所にはないでしょうか。そうです、市内には採れたての安全安心な農産物を、原則1コインで販売してくれる無人直売所が複数あります。野菜は農家さん個人の自宅前や駐車場などに並べられています。

春にはフキやワラビ、夏はみずみずしい夏野菜、秋には名物の梨や栗、冬は大根や白菜など、旬の野菜や果物を手軽に買うことができます。無人販売は、良心と信頼関係で成り立っています。自分で収穫した野菜を買う体験型のもぎ取り菜園も市内にありました。料金箱にお金を入れる、治安の良い、里山ならではの風景ですね。

直売所の前で様子を見てみると、近所の人たちは、自転車や徒歩で直売所の方をチラッと見ていきます。「あったらラッキー♪」くらいの気持ちで、マメなチェックが買い方のコツかもしれません。収穫次第で品物がなくなりますが、欲しい野菜があったときのうれしさは格別です。



自宅駐車場を利用して



自ら収穫体験ができる所も



農家の自宅前で